

カリキュラム

D. データ活用		データベースを活用したデータ処理(応用編)
	データベースソフト活用	

コースのねらい	業務の効率化を目指し、データベースソフトの機能であるデータ間の関係性を利用した処理や目的にあったデータの抽出・更新処理、ユーザの入出力画面の作成方法を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	リレーションシップと参照整合性	(1) リレーションシップとは アクセスの特徴であるリレーションシップについて学びます。 (2) 参照整合性とは リレーションシップを設定する時に考慮すべき「参照整合性」「フィールドの連鎖更新」「レコードの連鎖削除」について学びます。 (3) リレーションシップ／参照整合性の設定 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 (4) 参照整合性の確認 データを変更、削除した後に関連付けられたテーブルのデータの確認します。	2.0
	2	クエリの活用	(1) 複数テーブルからのクエリ作成 リレーションを組んだことにより作成できるクエリを学びます。 (2) アクションクエリ アクションクエリとは何かを学びます。 (3) 更新クエリ 特定の条件に合致するレコードのフィールドをまとめて変更できる更新クエリを作成します。 (4) テーブル作成クエリ 特定の条件を満たすレコードを抽出して新しいテーブルを作成するテーブル作成クエリを作成します。 (5) 削除クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードを、まとめて削除できる削除クエリについて学びます。 (6) 追加クエリ 特定の条件に合致する複数のレコードを、まとめて別のテーブルに追加できる追加クエリについて学びます。	2.0
	3	フォームの活用	(1) メインフォーム／サブフォーム 関連付けられたことによるテーブル、クエリ等から作成できるメインフォームとサブフォームを作成します。 (2) コントロールの種類 ラベル・テキストボックス・チェックボックス・コンボボックスの各コントロールについて学びます (3) フォームの編集 作成したフォームをレイアウトビュー・デザインビューで編集し、コンボボックスも作成します。 (4) 入力しやすいフォームに タブストップとタブオーダーを設定し、より入力しやすいフォームに編集します。	2.0
	演習		予め用意したデータベースで、各自リレーションシップの違いによってのデータ扱いの違いなどを確認。アクションクエリとフォームも実際に作成しながらの訓練になります。(リレーションシップの設定、参照整合性の違いを確認、複数テーブルからのクエリ作成、演算フィールドの作成、更新クエリの作成と実行、サブフォーム付きのフォーム作成、コンボボックスの作成、フォームの編集 など)	基本項目に含む